

すすすく消費者

島根県 令和4年度 第39号
消費者教育情報紙

■トピックス (P1-P2)

自立した消費者の育成に向けて
～新学習指導要領における家庭科の内容から～

■実践教育事例 (P3-P21)

・島根県小学校家庭科教育研究会 ・島根県社会科教育研究会
・島根県高等学校教育研究大会(家庭部門)

トピックス

自立した消費者の育成に向けて ～新学習指導要領における家庭科の内容から～

島根県教育センター
指導主事 平山和美

今回の学習指導要領の改訂において、小学校家庭科、中学校技術・家庭科(家庭分野)、高等学校家庭科では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通して、各学校段階に応じた家庭科で育むべき資質・能力を育成することを目指すととなりました。「生活の営みに係る見方・考え方」とは、家庭科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方の中で、「家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること」と整理されています。この「見方・考え方」を拠り所として学習を進めることが、学びの深まりの鍵となります。また、改訂にあたり、学習内容の系統性の明確化が図られました。児童生徒の発達を踏まえ、小・中・高等学校の各内容の接続が見えるように、小・中学校は、「家族・家庭生活」、「衣食住の生活」、「消費生活・環境」の三つ、高等学校は「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ」を加えた四つの内容構成となりました。さらに、空間軸と時間軸という二つの視点からの学校段階に応じた学習対象の明確化が図られました。空間軸の視点では、家庭、地域、社会という空間的な広がりから、時間軸の視点では、これまでの生活、現在の生活、これからの生活、生涯を見通した生活という時間的な広がりから学習対象を捉えます。

社会の変化に対応し、学習内容の見直しも行われました。消費者教育と最も関連が深い内容を含む「消費生活・環境」については、次のように改訂されています。小学校においては、買い物の仕組みや消費者の役割に関する内容が新設されるとともに、消費生活や環境に配慮した生活の仕方に関する内容の改善が図られました。中学校においては、計画的な金銭管理、消費者被害への対応に関する内容を新設するとともに、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容の改善が図られました。高等学校においては、成年年齢の引き下げを踏まえ、契約の重要性や消費者保護の仕組みに関する内容を充実するなど、消費者被害の未然防止に資する内容の充実が図られました。

近年、情報化、グローバル化、成年年齢の引き下げ、キャッシュレス化、環境問題や資源・エネルギー問題の深刻化など、消費生活・環境をめぐる状況は大きくかつ急速に変化しています。学校教育には、この変化に主体的に対応できる消費者の育成が求められています。私たちは生涯を通じて誰もが「消費者」です。このことを意識して、家庭科では、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせ、生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決方法を検討し、計画・実践、評価・改善するという一連の学習過程を重視して、知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力等の育成を図ります。また、家庭科の学習方法の特質である実践的・体験的な学習活動を行う中で、よりよい生活の実現に向けて主体的に実践できる消費者としての資質・能力の育成を図ります。このような学習を通して、消費生活・環境をめぐる状況を自分事として捉え、持続可能な社会の構築に対応し、状況に応じて自分がどのように行動するべきかを考え、よりよい方法を判断して行動できる、自立した消費者の育成を目指します。

小・中・高等学校の「消費生活・環境」の内容一覧（学習指導要領解説より抜粋）

校種		小学校	中学校
教科等		家庭科	技術・家庭科（家庭分野）
内容構成	C	消費生活と環境	消費生活・環境
		(1) 物や金銭の使い方と買物 ア(ア) 買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さ、計画的な使い方 (イ) 身近な物の選び方、買い方、情報の収集・整理 イ 身近な物の選び方、買い方の工夫 (2) 環境に配慮した生活 ア 身近な環境との関わり、物の使い方 イ 環境に配慮した物の使い方の工夫	(1) 金銭の管理と購入 ア(ア) 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理 (イ) 売買契約の仕組み、消費者被害、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理 イ 情報を活用した物資・サービスの購入の工夫 (2) 消費者の権利と責任 ア 消費者の基本的な権利と責任、消費生活が環境や社会に及ぼす影響 イ 自立した消費者としての消費行動の工夫 (3) 消費生活・環境についての課題と実践（※選択項目） ア 環境に配慮した消費生活についての課題と計画、実践、評価
学習対象	空間軸	自己と家庭	家庭と地域
	時間軸	これまでの生活及び現在の生活	これからの生活を展望した現在の生活

校種		高等学校	
教科等		家庭科（家庭基礎）	家庭科（家庭総合）
内容構成	C	持続可能な消費生活・環境	
		(1) 生活における経済の計画 ア 家計の構造、経済と社会との関わり、家計管理 イ 経済の管理や計画の重要性についての考察 (2) 消費行動と意思決定 ア 消費者の権利と責任、消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定、契約の重要性、消費者保護の仕組み、生活情報の収集・整理 イ 責任ある消費についての考察と工夫 (3) 持続可能なライフスタイルと環境 ア 生活と環境の関わり、持続可能な消費、持続可能な社会へ参画することの意義 イ 安全で安心な生活と消費についての考察とライフスタイルの工夫	(1) 生活における経済の計画 ア(ア) 家計の構造、経済と社会との関わり (イ) 経済の管理や計画、リスク管理、情報の収集・整理 イ 経済の管理や計画の重要性についての考察と工夫 (2) 消費行動と意思決定 ア(ア) 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定、責任ある消費、生活情報の収集・整理 (イ) 消費者の権利と責任、消費者問題や消費者の自立と支援、契約の重要性、消費者保護の仕組み イ 責任ある消費についての考察と工夫 (3) 持続可能なライフスタイルと環境 ア 生活と環境の関わり、持続可能な消費、持続可能な社会へ参画することの意義 イ 安全で安心な生活と消費及び生活文化についての考察とライフスタイルの工夫
学習対象	空間軸	社会	
	時間軸	生涯を見通した生活	

持続可能な社会の担い手の育成 ～買い物視点を通して～ ～第5学年「物やお金の使い方」の学習を通して～

島根県小学校家庭科教育研究会
浜田市立石見小学校 松本 侑樹

1. はじめに

現代は、物が豊かになり、購買意欲をかきたてる情報化社会の中で、生活に必要な物を的確に選択したり、判断したりすることが難しくなっている。一方では、資源には限りがあり、環境を保全しながら暮らすことが求められている。

本題材では、資源や環境を大切にすよりよい生活を目指して、「持続可能な社会の構築」などの視点から、課題をもって、物や金銭の使い方と買い物について考えていくことをねらいとした。授業では、お店で売られている6種類の異なった弁当を用意し、「値段」「量」「質」等、様々な視点で考え、商品を選ぶ活動を行った。消費者の視点から、目的に合わせて購入すること、そして、環境への影響等に気づかせることができた。

2. 取組の実際

(1) 題材名 第5学年 持続可能な暮らしへ ～物やお金の使い方～

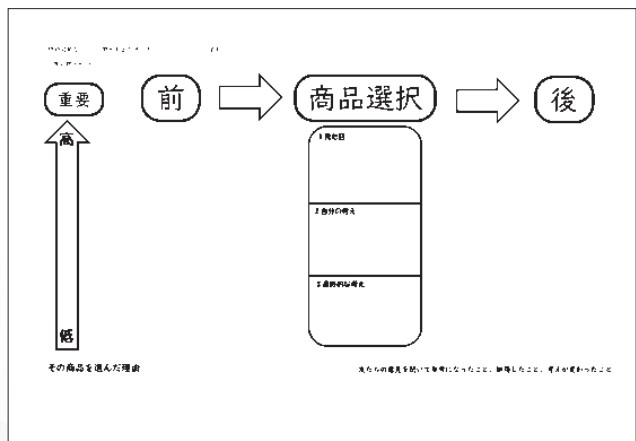
(2) 学習の流れ

- ①上手に選ぶために考えよう …… 必要なものを手に入れる方法について考える。
- ②買い物の仕方について考えよう… 買い物の仕組みや消費者の役割について考える。
環境や資源に配慮した表示やマークについて理解する。
買い物チャートを利用して、買物について考える。(本時)
目的に合った選び方・買い方について考える。
- ③上手に暮らそう …………… 消費者として持続可能な生活をするためにできることを考える。

(3) 授業の実際

本時は、6種類の弁当を提示し、「買い物チャートを見て、自分の食べたい弁当を選ぼう」という課題で、児童に考えさせた。

まず、前時に学習した弁当を買うときの視点(値段、好み、産地、賞味期限、環境マーク、見た目、量など)を重要度別に並べ替えて、自分がどの視点を重要視しているのかを考えた。次に、6種類の弁当の特徴を把握し、先ほど考えた買い物チャートを見ながら、自分の食べる弁当を決めていく活動を行った。選んだ弁当の理由を交流する場面では、「食材の多くが地元の島根県産を使っているから、この弁当を選びました。」「とにかくたくさん食べたいから量が一番多い弁当にしました。」など、子どもたちそれぞれが重要視している買い物の視点で弁当を選んでいった。しかし、「環境にやさしいマークがついているからこの弁当にしました。」と環境に配慮した弁当を選ぼうという児



童もいた。友だちの選んだ理由を交流したあとに、最終的に自分が食べたい弁当を選ぶ活動を行った。交流を通して、最初に考えた買い物チャートの買い物の視点の優先度に変化が生まれ、選ぶ弁当が変わっている児童もいた。

今回、本題材の事前アンケートで商品を購入するときの視点に、環境や資源に配慮していると答えていた児童は、一人もいなかったが、授業の最後に行った買い物チャートの作成では、環境や資源に関する視点が上位に変化している児童が半数近くおり、環境や資源に配慮した商品を選んでいこうという意識が高まったのではないかと感じた。

3. 成果と課題

○成果

(1) 話したくなる・考えたくなるような課題設定

弁当は、買うときにいろいろな観点で選ぶことができる商品で、様々な考え方で購入が予想されるため「弁当を買う」という場面を設定した。実際に子どもたちの活動の様子を見ると、どの弁当を選ぶのを楽しそうにすることができていた。

また、島根大学教育学部附属義務教育学校の実践をもとにして、買い物チャートを作成した。買い物チャートを弁当を買う前、グループ活動を行った後に作成したことで、この授業の中での変化が一目で分かるようになり、振り返りの場面で変化について振り返っている子が何人もいた。

 <p>1 高報弁当 700円</p> <p>商品名 から揚げ弁当 主産材 ご飯(米:新潟産)、から揚げ(鶏肉:鹿島産) 卵(鳥産)、ごぼう(鳥産)、にんじん(鳥産) 添加物 調味料(アミノ酸)、PH調整剤、酸化防止剤(V.C) 内容量 一人前(400グラム) 消費期限 令和3年9月30日 午後9時 保存方法 直射日光・高温多湿を避けてください。 製造者 (株)OO食品 島根県浜田市OO町OO</p> 	 <p>2 お得弁当 500円</p> <p>商品名 から揚げ弁当 主産材 ご飯(米:千歳産)、から揚げ(鶏肉:アヲノ丸産) 大根(鳥産)、ゆず(ロシ7産)、高菜(鳥産) 添加物 調味料(アミノ酸)、PH調整剤、酸化防止剤(V.C) 内容量 一人前(400グラム) 消費期限 令和3年9月30日 午後9時 保存方法 直射日光・高温多湿を避けてください。 製造者 (株)OO食品 島根県浜田市OO町OO</p> 	 <p>3 手作り弁当 600円</p> <p>商品名 から揚げ弁当 主産材 ご飯(米:広島産)、から揚げ(鶏肉:油田産) 卵(鳥産)、レモン(広島産)、梅干し(和歌山産) トマト(鳥産)、ピーマン(鳥産)、シタス(鳥産) 添加物 調味料(アミノ酸)、PH調整剤、酸化防止剤(V.C) 内容量 一人前(400グラム) 消費期限 令和3年9月30日 午後9時 保存方法 直射日光・高温多湿を避けてください。 製造者 (株)OO食品 島根県浜田市OO町OO</p> 
 <p>4 特盛弁当 700円</p> <p>商品名 から揚げ弁当 主産材 ご飯(米:北海道産)、から揚げ(鶏肉:島田産) じゃがいも(アヲノ丸産)、大根(中産) キムチ(中産)、梅干し(和歌山産) 枝豆(北海道産) 添加物 調味料(アミノ酸)、PH調整剤、酸化防止剤(V.C) 内容量 一人前(600グラム) 消費期限 令和3年9月30日 午後9時 保存方法 直射日光・高温多湿を避けてください。 製造者 (株)OO食品 島根県浜田市OO町OO</p> 	 <p>5 ごだわり弁当 600円</p> <p>商品名 から揚げ弁当 主産材 ご飯(米:仁多米)、から揚げ(鶏肉:島田産) たけのこ(鳥産)、にんじん(鳥産) じゃがいも(鳥産)、こんにゃく(鳥産) 梅干し(和歌山産) 添加物 調味料(アミノ酸)、PH調整剤、酸化防止剤(V.C) 内容量 一人前(400グラム) 消費期限 令和3年9月30日 午後9時 保存方法 直射日光・高温多湿を避けてください。 製造者 (株)OO食品 島根県浜田市OO町OO</p> 	 <p>6 味わい弁当 500円</p> <p>商品名 から揚げ弁当 主産材 ご飯(米:鳥産)、から揚げ(鶏肉:アヲノ丸産) レンコン(山口産)、にんじん(鳥産) ごぼう(鳥産)、大根(鳥産)、梅干し(和歌山産) 添加物 調味料(アミノ酸)、PH調整剤、酸化防止剤(V.C) 内容量 一人前(400グラム) 消費期限 令和3年9月30日 午後9時 保存方法 直射日光・高温多湿を避けてください。 製造者 (株)OO食品 島根県浜田市OO町OO</p> 

(2) 既習事項や学習内容が一目で分かるような掲示物の工夫

題材を通して、学習してきたこと(買い物の手順、持続可能な社会に向けて、表示など)を掲示したことにより、既習事項が一目で分かるようにした。今回の授業でも、弁当にあるマークの意味が分からなかったときに、マークの掲示物を確認している児童が何人もいた。

(3) 家庭との連携

学習したことを活かす場として、可能であれば、実際に家の人と一緒に買い物に行く活動を促した。買い物をした後に、買い物チェックポイントに沿って、振り返る場面も設定し、学習した内容を意識して買い物をするのができたのか確認ができるようにした。

△課題

「学習のめあて」がはっきりしていなかった。もう少しめあてを強調するべきであった。めあてと振り返りはつながっていた方がよいので、はっきりと提示する必要がある。

子どもたちの中での「課題」は何だったのか。なんのために弁当を選んでいるのかが明確になっておらず、何となく浅い部分で選んでいるようであった。

今回、6種類の弁当を子どもたちに提示したが、1つ1つの弁当についての情報が多いこと、比較しにくく、目に留まりやすい写真の見え方や値段、マークを見て選んでいたこと、といった課題があり、弁当の種類を少なくする、弁当の提示の仕方をもう少し見やすくするなどの工夫が必要であった。

大型店と地元の商店との違いをもとにより良い消費者を目指す子どもの育成

～第3学年「はたらく人とわたしたちの暮らし」の学習を通して～

島根県社会科教育研究会

指導者 安来市立母里小学校 鉄原 祐子

1. はじめに

本校は、安来市の東端に位置しており、鳥取県南部町まで車で10分、米子市まで車で15分と生活圏が隣接の鳥取県という家庭も多くある。校区は伯太川を挟んで南北に分かれて、さらに飛び地と呼ばれる他の校区に位置する地区もあり、日常的に保護者の送迎によって登下校する児童も複数いる。また、近くに大型のショッピングセンターやスーパーマーケットはないが、コンビニエンスストアや老舗の専門店がある。

そこで、本単元では、安来市内のスーパーマーケットと地元の商店、保護者の協力を得て、実際に見学してインタビューしたりアンケートを実施したりしながら、それぞれのお店の良さや販売の工夫、自分たちの生活との結びつき等を考えていくことにした。また、本校は今年度からICT活用教育に力を入れていることから、NHK for schoolや一人一台の端末等を活用し、調べたことをまとめたり、自分の思いを書いたりすることで、大型スーパーと地元の商店との違いやそれぞれの良さをとらえ、消費者としての自分の生活と結びつけていくことができると考えた。

2. 単元名 「はたらく人とわたしたちの暮らし～店ではたらく人～」

3. 目標

地域に見られる販売の仕事について、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現していく。また、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。

4. 指導計画

	主な学習活動
つかむ	・ 買い物調べ・スーパーマーケットの見学計画
調べる	・ スーパーマーケットの見学やお店の人へのインタビュー
まとめる	・ 見学やインタビューでわかったことをまとめる
ひろげる	・ 地域にあるお店の特色や工夫について知る
いかす	・ スーパーマーケットや地域のお店の仕事と自分たちの生活との関連を考える。

5. 授業の実際

「つかむ」学習では、最初に「買い物調べ」を行った。その結果、よく買い物に行く店は、安来市内の大型スーパーや隣接する南部町の大型スーパーで、その理由として勤務先や家から近く、品ぞろえが多く、値段も

安いというものだった。そこで、スーパーマーケットで働く人は、多くの人々に買い物をしてもらうために、どのような工夫をしているのかを調べるために見学を計画した。

「調べる」学習では、市内の大型スーパーに見学に出かけた。見学では店長さんのお話やバックヤードの見学、インタビューを通して次のようなことを学んだ。

- 仕事の内容がいろいろあること
- お客さんのニーズに応える様々な取り組みをしていること
- たくさんの商品が販売されていること
- 品物は外国からも来ていること
- リサイクルコーナーなど品物を売る以外にも地域の人々に役立つことに取り組んでいること



「まとめる」学習の最後に、クロームブックを使ってこれから自分にもできることを考えまとめた。その内容は「エコバックを持っていく」「まとめ買いをして買う回数を減らす」「賞味期限、消費期限の近いものから買う」「必要なものだけ買う」「買うものをメモしていく」などで、子どもなりに消費者としての意識をもつことができたように思う。

「ひろげる」学習では、創業大正15年の地元の醤油店について調べることにした。事前に各家庭で使われている醤油をクロームブックで写真にとってくると、14人中、11人の家で使われていること、また「総合的な学習の時間」で醤油について調べ学習をしていることで見学に対する学習意欲が高まった。見学では、社長さんの話や蔵の見学、もろみを混ぜる体験、インタビューを通して次のようなことを学んだ。

- 地元の食材を使い安心安全な醤油作り
- 1年半かけた醤油作り
- アレルギーがある人にも使える米を使った醤油作り
- 外国へも出荷・醤油アイスをはじめ50種類の商品
- 給食センターへの提供
- イベントの開催、出張販売
- 働きやすい職場作り
- 店をより身近に感じられる工場作り（見学コーナーの設置）



「いかす」学習では、大型スーパーと地元のお店の共通点や違いを考えた。消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めようと工夫しているという共通点がある一方、地元のお店は安心・安全を第一に考えていること、給食への提供やイベントの開催等でより地域と密接につながる努力をしていること、コロナ禍で販売を増やすためにインターネット販売に力を入れているという違いがあることがわかった。

6. まとめ

3年生の児童にとって大型スーパーや地元のお店の見学はとても貴重な体験となった。消費者の願い・販売の工夫・他地域や外国との関わりに着目して見学することで、「欲しいものを買う」という意識から「必要なものを必要な量買う」「安全なものを買う」という視点が加わったように思う。今後も様々な学習を通して、消費者教育のベースとなる「じっくり物事を考える習慣」「よりよい選択を判断する訓練」を身につけてほしいと願っている。

あなたは、どちらの商品を購入しますか？

～世界に影響を与えるアメリカの農業と柿木の有機農業～

島根県社会科教育研究会

指導者 吉賀町立柿木中学校 小原 絵里香

1. はじめに

本校は、島根県の西端に位置し、清流日本一に輝いた高津川が流れ、中国山地に囲まれた自然豊かな地域である。本校のある柿木地区では、日本の棚田百選に選ばれた「大井谷の棚田」があり、30年近く有機農業が受け継がれている。給食にも柿木の有機農業で育てた食材が提供されており、小学校での学習や中学校での総合的な学習の時間でも、有機農業についての学習を行い有機農業の特徴や自然環境に考慮した取り組みについて理解している。

今回の授業は、「北アメリカ州」の単元をもとに、柿木の有機農業とアメリカの大規模農業やバイオテクノロジーで発展をとげる農業と比較し、持続可能な社会をめざす方法として食品をめぐる課題に目を向けながら、消費者として商品をどう選ぶかという学習を設定した。地理的分野では、SDGsの17項目を中心とし持続可能な社会を目指すために世界が抱える課題に着目し、学習に取り組んでいる。

2. 単元名：北アメリカ州

3. 単元を貫く問い

北アメリカ州の課題を明確にして、持続可能な社会をめざすために北アメリカ州は今後どのような選択をして行くべきだろうか？

4. 単元目標

- ・北アメリカ州の自然環境、産業、人種問題について理解し、さまざまな資料から情報を適切に読み取る技術を身につける。 【知識・技能】
- ・北アメリカ州が世界に与える影響や地球的課題について多面的・多角的に考察し、課題解決に向けての考えをまとめ、説明する力を養う。 【思考力・判断力・表現力】
- ・北アメリカ州が世界に与える影響について、これまでの学習や自らの生活と結び付けながら地球的課題の解決に向けて取り組もうとする態度を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】

5. 単元の指導計画（7時間）

	テーマ	学習活動
1	北アメリカ州の自然環境	・北アメリカ州の自然環境について知り、環境の異なる地域での生活の違いについて考える。
2	移民の歴史と様々な民族	・アメリカで問題となっているヘイトクライムや移民問題について歴史的な背景と移民の増加について今後の在り方について考える。
3	世界をリードする工業	・身近な生活の変化から先端技術産業の発展が世界に与える影響について考える。
4	世界をリードする農業と農産物	・適地適作、大規模農業、バイオテクノロジーを駆使したアメリカの農業と世界への影響について考える。
5	アメリカの生産・消費と世界への影響	・アメリカの大量生産・消費、多国籍企業が世界に及ぼす影響は、持続可能な社会の実現に有効的なものかを考える。
6	消費者として考えてみよう (本時)	・世界に影響を与えるアメリカの農業と環境を守りながらおこなう柿木の農業とを比較し、価格や世界に与える影響から消費者としてどちらを購入するかを考える。
7	まとめ	・アメリカの課題と世界に与える良い影響、悪い影響を考えまとめる。

授業記録

学習の流れ	内容
①アンケート結果	・ものを買うときに意識することや趣向や日本の食料自給率、柿木の有機農業について
②有機農業と大規模農業を比較	・SDGs、価格、安全性、量、手間（人手）、環境、利点等の項目を比較する。
③意見交換 ④消費者として	・グループで疑問に思ったことや議論になったことをあげる。 ・有機農業・アグリビジネスのどちらの商品を購入するかを考える。

授業の様子

・事前に商品の購入や食に関することについてアンケートを実施した。

○「欲しいものはできれば安いものを選んで買いたい。」⇒はい75% いいえ25%

○「柿木にコンビニが欲しい。」⇒はい69% いいえ31%

○「柿木のお米はおいしい。」⇒はい94% いいえ6%

この結果から、生徒の多くは安さや便利さを求めつつも、安全でおいしいものを手に入れたいという意見が多かった。

・③の意見交換のところで、多くのグループが価格の違いに疑問をもっていた。生産量や企業的な農業の視点から価格について有機農業との差について意見の交流が見られた。また、安全性については工業の学習で触れた、遺伝子組み換えやゲノム編集の技術が食品に与える影響について議論する場面があった。これらの活動を踏まえ、④の「どちらの商品を選ぶ」となった際は、多くの生徒が悩んだ様子が見られた。結果は、有機農業の商品…10名、アグリビジネスの商品…6名という結果となった。

有機農業の意見

・価格は高いけれど、安全性もあり環境への影響も少ないから。ただし、世界の全員が有機農業の商品を買うというのは現実的に無理だと思う。

・安全なほうが世界を救えると思ったから。

・量は少ないけど、安全性はあるし、環境への影響も少ないから。

アグリビジネスの意見

・遺伝子組み換えの商品など安全性が保証できないものは売らなければいい。アグリビジネスの商品のほうが量、価格、手間が格段に下がる。

・アメリカは多国籍企業が多く、アグリビジネスのものを買えばアメリカに利益が回り、その利益で世界をよりよいほうへ動かすかも知れないと思ったから。

・安全性も大事だが、世界では貧困差が大きいため安くて量の多いほうがいいと思う。

まとめ

今回の学習で生徒たちは身近な商品がどのように生産され、自分たちが消費者として選ぶことによって世界に影響を与えていることに気づいた。世界が抱える課題に着目し、「貧困の解消＝食糧生産の増加」を考える生徒も多く、アメリカの先端技術産業と大規模農業をより発展させ、持続可能な社会を目指す新たな技術の開発を進めるべきだという意見が多くあった。また、日本の食料自給率の低さと日本の輸入の依存度の高さに気づき、アメリカの大規模農業が今の生活の便利さや豊かさにつながっていることを実感し、影響力の強さに驚いていた。しかし、アメリカの産業が与える影響は、決して良い面だけではなく産業の発展に伴う地球温暖化の影響や環境や生物に対する安全性についても解決しなくてはならない問題だと感じていた。身近な安定した便利さと世界の状況を比較しながら、今後の自分の消費者としての在り方についてどうしていくべきか考える学習となった。

単元の学習の感想に「自分の生活は、やはり安定したものにしたいから、安くていいものを買いたいと思うし、それにはアグリビジネスが役立つと思う。でも、世界規模で考えると自分のことだけで動けば世界の問題は解決しないし、悪化させてしまう可能性がある。自分も世界もWIN = WINの状態にするのは難しいことだと感じた。でも、自分たちがちょっと我慢するぐらいの気であれば、WIN = WINに近づけるかなと思う。」

これから世界の状況、身近な地域の暮らしの中から、自分も世界もWIN = WINとなるような社会をつくり、世界の一員としてよりよい生活を営んでいける生徒の育成をめざしていきたい。

知識構成型ジグソー法を用いた 協調学習授業 授業案

島根県高等学校教育研究大会（家庭部門）
授業者 島根県立出雲高等学校 手島 洋子

授業日時	2022年10月19日（水）		教科・科目	家庭・家庭基礎
学年・年次	1 学年		児童生徒数	40名
単元名	経済的に自立する		本時／この内容を扱う全時数	3 / 4
内容のまとめり	C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画	教科書及び教科書会社	家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)	
単元の目標	<p>(1) 自立した生活を営むために必要な家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解する。</p> <p>(2) 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、問題点を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身につける。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の管理や計画の重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上をめざして実践しようとする。</p>			
単元の評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。	生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の管理や計画の重要性について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	

指導と評価の計画（4時間）

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考（●は評価基準、*は指導上の留意点）
1 ・ 2	<p>一人暮らしの家計管理について考えよう 【ねらい】 ○生活における経済と社会のかかわりや家計の構造について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしにかかる費用を考えると、家計への興味を持つ。 すずきさんの理想の一人暮らしについて、大切にしたいことを考えながら収入に合わせた生活を調整し、家計管理のシミュレーションを通して家計管理の重要性に気付く。（グループワーク） 家計の構造や家計と経済のかかわりについて理解する。 授業の振り返りを記入する。 	思 知	 ★	<p>●夢や目標を大切にしながら生活できる家計プランを工夫して考えることができる。 ＜ワークシート、行動観察＞</p> <p>●家計と国民経済、国際経済のかかわり、給料の仕組み、家計の構造について理解している。 ＜定期試験＞</p>
2 ・ 3	<p>将来に備えた長期的な経済計画について考えよう 【ねらい】 ○長期的な経済計画を立てる際の留意点を考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> すずきさん夫婦のライフプランを見て、資金調達についてのアドバイスを考える。 長期的な経済計画について考えるためのワークシートにグループで分担して取り組む。 分担して得た知識を共有し、すずきさんのライフプランを実現するために資金をどのように調達したらよいかを考える。（グループワーク） グループで話し合ったことを発表する。 資金調達についてのアドバイスと授業の振り返りを記入する。 	知 思 態	○	<p>*学習前の考えを記入させる。</p> <p>*エキスパート活動・・・ABCそれぞれの金融商品についての資料を読みながら、グループで協力してそれぞれの特徴を理解させる。 A「借りる」B「備える」C「貯める」</p> <p>●さまざまな金融商品の特徴を理解している。 ＜ワークシート＞</p> <p>*ジグソー活動・・・エキスパート活動で得た知識をふまえて、すずきさん夫婦へ資金調達についてのアドバイスを考えさせる。</p> <p>●生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージと関連づけて課題の解決に向けて考え、工夫している。 ＜行動観察・ワークシート・まとめのForms＞</p> <p>●生涯を見通した経済の管理や計画の重要性について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ＜行動観察・まとめのForms＞</p>
4	<p>自分の将来のライフプランと経済計画を立ててみよう 【ねらい】 ○自分の将来のライフプランを経済計画と関連させながら立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時を振り返り、長期的な経済計画を立てる際の留意点を整理する。 将来のライフプランを考え、経済計画を立てる。 自分の計画を発表する。（ペアワーク） 授業の振り返りを記入する。 	態	○	<p>*自分が大切にしたいことを考えながら、経済計画を考えさせる。</p> <p>●生涯を見通したライフプランや経済の管理や計画について、課題の解決に主体的に取り組む、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとしている。 ＜ワークシート＞</p>
<p>・上記の一連の学習で目指すゴール</p>				
<p>生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性に気づき、自分自身のライフプランを前向きに検討しようとする意欲につなげたい。</p>				

授業のねらい (本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか)

<本時のねらい> 長期的な経済計画を立てる際の留意点を考えることができる。
これから必要になるライフイベントの費用や、将来起こるかもしれないリスクを考えながら将来の経済計画を考える活動を通して、生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性に気づき、自分自身のライフプランを前向きに検討しようとする意欲につなげたい。

メインの課題 (授業の柱となる、ジグソー活動で取り組む課題)

将来に備えた長期的な経済計画について考えよう
～すずきさん夫婦の将来の経済計画についてアドバイスしよう～

児童生徒の既有知識・学習の予想 (対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出そうか。また、どの点で困難がありそうか。)

将来のライフイベントとして、「結婚」「子どもの誕生」「家を建てる」「退職」などは多くの生徒が思い描いていると考えられるが、それぞれの資金については「かなりお金がかかるだろう」というイメージで具体的な金額に触れる機会は少ないと思われる。前時の学習で一人暮らしにかかるお金をイメージすることで、少しずつ貯金をする程度では賅えないことに気づかせたい。さまざまな金融商品については、「貯蓄」「保険」「ローン」などは知識として持っていると考えられるが、具体的な内容や「資産運用」の知識は乏しいと予想する。借金をすること、リスクがある投資などにはマイナスイメージを持っている生徒が多いと予想するが、そのメリットに気づくことができれば、金融商品を選ぶ選択肢が広がり、それらの知識を得ることの大切さに気付くのではないかと考える。

<Pre 課題：予想する答え>

かなりお金がかかるからもっと節約してコツコツと貯金をしておこう。

貯金だけでは足りないから住宅ローンや奨学金も活用するとよい。

期待する解答の要素 (本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための基準)

①すずきさん夫婦へのアドバイス、②振り返りについて

【思考・判断・表現】 **【記録に残す評価】**

◎：様々な金融商品の特徴をふまえて、目的に応じた適切な金融商品を選ぶようなアドバイスができています。

○：将来のライフプランを大切にしながら、貯蓄だけでなく、様々な金融商品に目を向けさせるようなアドバイスができています。

手立て：すずきさん夫婦の思いや様々な金融商品のメリットに目を向けるように声掛けをする。

<答えに含まれてほしい要素>

◆Pre 課題から金融商品に対する視野が広がっている ◆投資のメリットやデメリット

◆リスクに備えて保険に入っておくことの重要性 ◆いろいろな金融商品の情報活用について

【主体的に学習に取り組む態度】 **【指導に生かす評価】**

<答えに含まれてほしい要素> ・ ・ 学びを自分の生活に生かそうとする意欲

◆ライフプランとその経済計画を立てることへの意欲

◆さまざまな金融商品があり、それぞれメリット、デメリットをふまえた上で利用すること

◆金融商品の情報を得て、知識をしっかりと持つことの大切さ

◆リスクに備えることも考えておく必要性

各エキスパート<対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで押さえたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください>

A：「借りる」金融商品について知ろう

○ローンは目的や種類によって金利や返済期間が異なること

○メリット：お金がなくても必要な時に資金調達ができること

○デメリット：ローンやクレジットを利用すると、利息がかかること

返済期間が長いものは利息が高額になってしまうこと

B：「備える」金融商品について知ろう

○ライフプランの中でリスクに遭遇する可能性があること

○賠償額は自分の力では支払うことができないくらい高額になる可能性があること

○メリット：リスクの発生時に高額の費用がかかってもすぐに支払うことができる。

○デメリット：リスクが発生しなかった場合、保険料は戻ってこない。

C：「貯める」金融商品について知ろう

○預貯金以外にも運用することでお金をふやすことができること

○投資は、社会経済の動きに関係すること、長期的な運用に向いていること

○投資メリット：投資は大きな利益を生む可能性がある。

○投資デメリット：リスクもあること、すぐに現金化できないものもある。

ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容

○自分自身のライフプランを描き、経済計画を立てる。

本時の学習活動のデザイン

| 時間 | 学習活動 | 支援等 |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (事前)
20分 | <p>< Pre 課題 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すすきさんのライフプランを見て、資金調達についてのアドバイスを考えて回答する。 ・ エキスパート資料の読み取り | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の終わりに、本時の予告と Pre 課題を提示し、アドバイスを考えて回答させておく。 ・ エキスパート資料を配布し、ワークシートに自分なりの回答を記入させる。 |
| 5分 | <p>< 導入 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の学習課題と、ジグソー法の流れを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Pre 課題の回答を紹介し、本時の課題を知らせ、授業の流れを確認する。 |
| 10分 | <p>< エキスパート活動 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれが記入してきた回答を確認し、メリット・デメリットを話し合う。 <p>A: 「借りる」 金融商品について知ろう
B: 「備える」 金融商品について知ろう
C: 「貯める」 金融商品について知ろう</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの資料から分かったことを次のグループで簡潔に説明できるよう準備しておく必要があることを伝える。 ・ シミュレーションや計算はあらかじめ答えを掲示しておいて、見てもよいことを伝える。 ・ メリット、デメリットに時間をかけるよう促す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>■ 評価方法
エキスパート活動 ワークシート
知識・技能 指導に生かす評価</p> </div> |
| 20分 | <p>< ジグソー活動 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エキスパート活動でまとめたことを共有する。 ・ すすきさん夫婦が将来のライフイベントの資金をどのように調達するとよいか話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ エキスパート活動の発表は簡潔に話すよう伝える。 ・ 貯蓄の使い方と金融商品の選択について考えることを伝える。 ・ 話し合いに困っているグループへメリットやデメリットに目を向けるよう声掛けをする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>■ 評価方法
行動観察・ワークシート
思考・判断・表現 指導に生かす評価</p> </div> |
| 8分 | <p>< クロストーク ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各班で話し合ったことを発表し、他の班の意見を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 違う班の人が3人集まって、自分のグループの考えを発表させる。 ・ 全員が発表できるように、時間を区切る |
| 7分 | <p>< まとめ ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジグソー活動で話したことやクロストークで聞いたことをふまえて、すすきさん夫婦へのアドバイスと、授業の振り返りを回答する。 ・ 自己評価をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ジグソー活動でまとめた意見と異なってもよいので、自分の考えをまとめるように伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>■ 評価方法
Classroom での課題 Forms
まとめ (すすきさん夫婦へのアドバイス・振り返り)
思考・判断・表現 記録に残す評価</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>■ 評価方法
Classroom での課題 Forms
まとめ (授業の振り返り、自己評価)
主体的に学習に取り組む態度 指導に生かす評価</p> </div> |

グループの人数や組み方

授業開始時エキスパート活動：同じエキスパートで3人グループを作って課題に取り組む
 →ジグソー活動：エキスパート A、B、C の3人が集まって課題に取り組む
 →クロストーク：エキスパート活動の班に戻って発表しあう
 →まとめ：クロストークの班のまま各自まとめに取り組む

本日の学習課題： 将来に備えた長期的な経済計画について考えよう
 ~すずきさん夫婦の将来の経済計画についてアドバイスしよう~

エキスパート班
 ()班

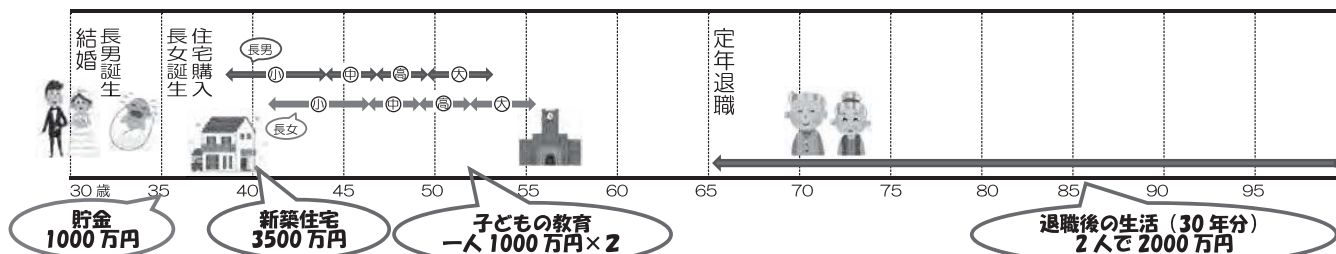
ジグソー班
 ()班

すずきはなこさん・いちろうさん夫婦 (ともに 35 歳)



結婚して5年目のすずきさん夫婦。共働きで、3歳の子どもと賃貸アパートで暮らしている。子育てと仕事に忙しい毎日だが、まもなくもう一人子どもが生まれる予定である。また3年後、長男が小学生になる頃には念願のマイホームを建てたいと考えている。現在二人でコツコツ貯めた貯金が1000万円になった。子どもの教育費も気になるが、高齢化が進み、「老後の資金が2000万円必要」というニュースも気になっている。そろそろ将来に備えて本気で経済計画をたてないと…。まずは将来のライフプランを整理してみた。

<すずきさん夫婦のライフプラン>



5年間で節約しながら何とか1000万円貯まった。借金をするのは怖いから、この調子で貯金をすると、3500万円貯めるのに13年ぐらいかかりそうだな。そのころはもう48歳、子どもも高校生。新築住宅は当然買えそうにないな。アパートの家賃6万円も、あと13年住めば1000万円くらい払うことになりそうだな。



子どもが成長していくと今よりも生活費がかかるから、これまで通りの貯金はできなくなりそうよ。たとえ48歳でお金が貯まって家を建てたとしても、すぐに子どもが大学に行く年になるから、教育費もかなりかかりそう…。大学に行かせてやれるのかしら？老後の資金も気になるし…。家か子どもの大学かどちらかあきらめなきゃならないかも…。

1. Pre 課題 → Classroom の Forms で回答

将来のライフイベントの資金調達に悩むすずきさん夫婦に、どんなアドバイスをしますか。

2. エキスパート活動 ~いろいろな金融商品を知ろう~

3. ジグソー活動 ~ライフイベントの資金調達の方法を考えてみよう~

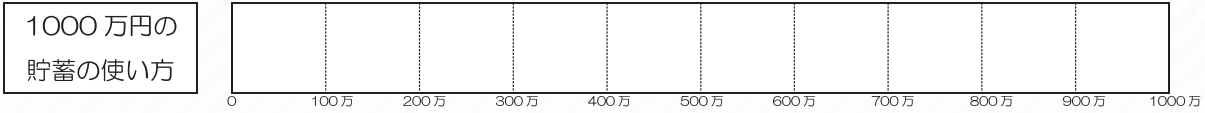
① エキスパート活動で学んだことを共有しよう

| |
|--------------|
| A: 「借りる」金融商品 |
| B: 「備える」金融商品 |
| C: 「貯める」金融商品 |

3. ジグソー活動 ~ライフイベントの資金調達の方法を考えてみよう~

② すずきさん夫婦の将来の資金調達について話し合ってみよう

すずきさん夫婦は将来のライフイベントの資金をどのように調達したらよいか。
1000万円の貯蓄をどのように使い、どのような金融商品を利用して資金調達をするとよいだろうか。



| ライフイベント | 必要資金 | 資金の調達方法
※1000万円の貯蓄の使い方も含めて記入しよう | なぜこの方法がよいのか
すずきさん夫婦に説明しよう |
|------------------|--------|------------------------------------|------------------------------|
| 新築住宅 | 3500万円 | | |
| 子どもの教育 | 2000万円 | | |
| 老後の生活 | 2000万円 | | |
| リスク
(事故、病気など) | ? 円 | | |

4. クロストーク活動 ~他の班の資金調達の仕方を聞いてよいと思ったことをメモしよう~

| | | |
|------------|---|--|
| 発表者
() | 班 | |
| 発表者
() | 班 | |

5. まとめ → 自分の考えを Classroom の Forms で回答

- ① 将来のライフイベントの資金調達に悩むすずきさん夫婦に、どんなアドバイスをしますか。
- ② 今日の学習を振り返って、最も大切だと思ったこと、自分の生活に生かせることをまとめよう。

6. 自己評価 → Classroom の Forms で回答

<本日の授業に対する自己評価>

| | | | | |
|------------------|--------------------------------------------|--------------------------------|-------------------------|-----------------------|
| ①授業への取り組み | A 大変意欲的に取り組めた | B 意欲的に取り組めた | C あまり意欲がなかった | D 意欲がなかった |
| ②情報や意見の伝え方 | A うまく伝えられた | B 伝えられた | C うまく伝えられなかった | D 伝えられなかった |
| ③内容の理解度 | A よく理解できた | B 理解できた | C あまり理解できなかった | D 理解できなかった |
| ①エキスパート活動 | A 資料を読み解いて説明できた | B 資料を理解し、自分なりに説明した | C 資料を読んでそのまま伝えた | D 資料を理解できなかった |
| ②ジグソー活動 | A 自分や友だちの意見やアイデアをまとめる役割を担った | B 自分の意見やアイデアを出した | C 意見や疑問点を出した | D 友だちの発言に反応しなかった |
| ③クロストーク活動
まとめ | A 自分が学んだ知識や考えと仲間の知識や考えを組み合わせ、課題に対しての意見を持てた | B 自分が学んだ知識や考えを中心に課題に対しての意見を持てた | C 課題に対しての自分の意見を持つことができた | D 課題に対しての自分の意見が持てなかった |

「借りる」金融商品について知ろう

◆ローンとクレジット

🕒 ローンとは

ローンとは、銀行などからお金を借りて、後から少しずつ支払う約束のことで、

日々の生活費は、毎月の収入でまかなえても、たとえば車などの高額な買い物になると、お金を一度に用意するのが難しいケースも出てきます。そのような場合にローンを利用すると必要なものを必要なときに手に入れます。



🕒 クレジットとは

クレジットとは、商品などを買った時点では代金を支払わず、後から支払う約束のことで、

商品を買った時点で代金を支払わない代わりに、「決められた日に必ず代金を支払います」という約束を交わします。代金の支払いが後回しになるため、買う人に信用がなければ利用できません。

クレジットは、買い物のたびに、申込書を書いて利用を申し込み方式（個別方式）と、利用限度額の範囲なら何回でも利用できる方式（クレジットカード）があります。



● ローンとクレジットの違い

ローンとクレジットは、どちらも後で支払う約束であるという点、分割で支払う場合は手数料等がかかるという点が共通しています。

両者の違いは、一般的にローンは、車や住宅など高額なものを買うときに利用され、返済は長期になります。一方、クレジットは、洋服や家電など様々な買い物に利用することができ、支払いはローンに比べると比較的短期になります。



◆ローンの種類

ローンにはあらかじめ使いみちを限定したローンと、使いみちが自由なローンがあります。

| | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <h4>住宅ローン</h4> <p>家を購入するときに!</p> <p>マイホームを購入するときに借りられるローンです。銀行などから借りて、分割して支払います。最長で35年までの長期返済ができます。</p> | <h4>教育ローン</h4> <p>子どもの教育のために!</p> <p>教育資金を支払うときに借りられるローンです。高校や大学(院)、各種学校などに納める入学金や授業料などが対象となります。</p> | <h4>自動車ローン</h4> <p>車を購入するときに!</p> <p>自動車を購入するときに借りられるローンです。銀行などの金融機関のほか、車の販売店でも申し込むことができます。</p> | <h4>カードローン</h4> <p>使いみちは自由!</p> <p>使いみちが自由なローンです。あらかじめ決められた借入れ限度額内なら、いつでも何回でも借りることができる仕組みです。</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|

◆ローンの種類と金利

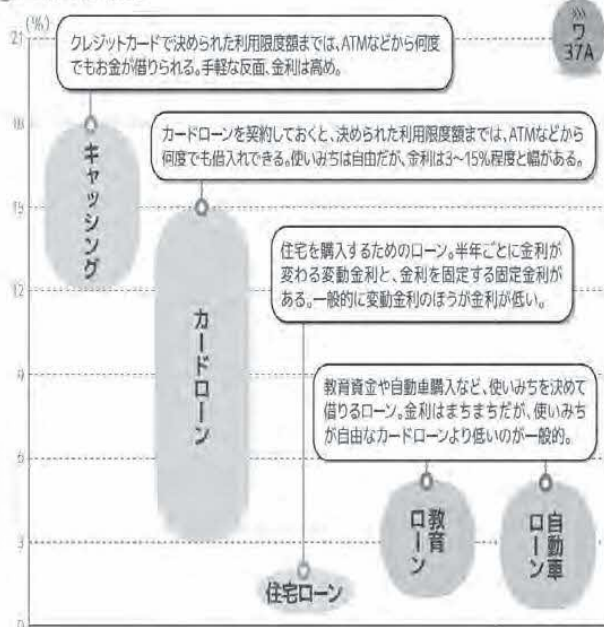
🕒 金利とはお金の使用料

ローンでお金を借りた場合には、お金の使用料にあたる「金利」がかかります。

商品の価格がお店によって違うように、同じ種類のローンでも、金融機関によって金利は異なります。金利の違いによって最終的に支払う金額も変わってくるため、自分にとってどのローンが有利なのかを、よく検討してから決めることが賢い利用方法といえるでしょう。



📊 金利の分布図



金利が決まる条件の例

使いみち
使いみちが限定されていると低く、自由だと高くなる。

担保の有無
担保があるほうが、金利が低くなる。

利用者の信用度
信用度が高いほど金利は低くなる。また、過去の利用実績などが考慮されるケースもある。

◆教育ローンと奨学金

| 教育ローン | 教育ローン | 貸与奨学金 (JASSO) | |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 保護者などが
国や金融機関から
借りる | 誰が借りる? | 保護者など | 学生本人 |
| | 基準は? | 保護者の収入が一定額以上 | 保護者の収入が一定額以下 |
| | 借り方は? | 契約成立次第、一括で | 在学中、月々 |
| | いつ返す? | 借りた翌月から | 卒業後 |
| | 利子は付く? | 貸付と同時に利子発生 | 利子なしと、
利子付き(在学中は利子なし)がある |
| どのくらいの
利率? | 政府系 年1.25%(母子家庭等)
金融機関 または年1.65%(その他)
A銀行 年2.975%(担保あり)
または年3.475%(担保なし)
<small>(政府系金融機関は2021年11月現在、
A銀行は2021年12月現在)</small> | 利率固定方式:年0.268%
利率見直し方式:年0.002%
※利率は年3%を超えないよう
法令で定められています
<small>(2021年12月貸付終了)</small> | |

日本政策金融公庫が行う「国の教育ローン」が多くの人に利用されています。民間の金融機関も実施しています。

↑資料：独立行政法人 日本学生支援機構「進学マネーハンドブック」より抜粋

国の教育ローン<日本政策金融公庫>

- 上限 350 万円まで借り入れできる。家計基準がある。
- 利率 (R4)：固定金利 1.8%
- 返済期間：最長 18 年

国の奨学金<日本学生支援機構 (JASSO) >

- 「貸与型 (返済必要)」「給付型 (返済不要)」がある。貸与型には第一種 (無利子)、第二種 (有利子) があり、それぞれ学力基準、家計基準がある。
- 利率 (R4)：利率固定方式 0.468%、利率見直し方式 0.020%
- 返済期間：借入金額によって異なる

☆ローンや奨学金でお金を借りたときの返済総額・利息を計算してみよう

| | 住宅資金 | | 子どもの教育資金 | |
|----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 住宅ローン | | 国の教育ローン | 国の奨学金 (第二種) |
| 借入金 | 3500 万円 | 2500 万円 | 350 万円 | 350 万円 |
| 金利 | 1.5% | 1.5% | 1.8% | 0.468% |
| 返済期間 | 35 年
(420 回) | 35 年
(420 回) | 18 年
(216 回) | 20 年
(240 回) |
| 返済額 (月額) | 円 | 円 | 19,100 円 | 15,300 円 |
| 返済総額 | 約 万円 | 約 万円 | 約 万円 | 約 万円 |
| 利息 | 約 万円 | 約 万円 | 約 万円 | 約 万円 |



借金シュミレーター

金融庁
「借金シュミレーター」
に入力してみよう

電卓で計算してみよう

☆貯金で新築住宅を購入する場合とローンでお金を借りて購入する場合のメリットとデメリットをあげてみよう。




| | 貯金で新築住宅を購入 | ローンで新築住宅を購入 |
|-------|------------|-------------|
| メリット | | |
| デメリット | | |

☆ローンを利用するとき気をつけることをまとめよう

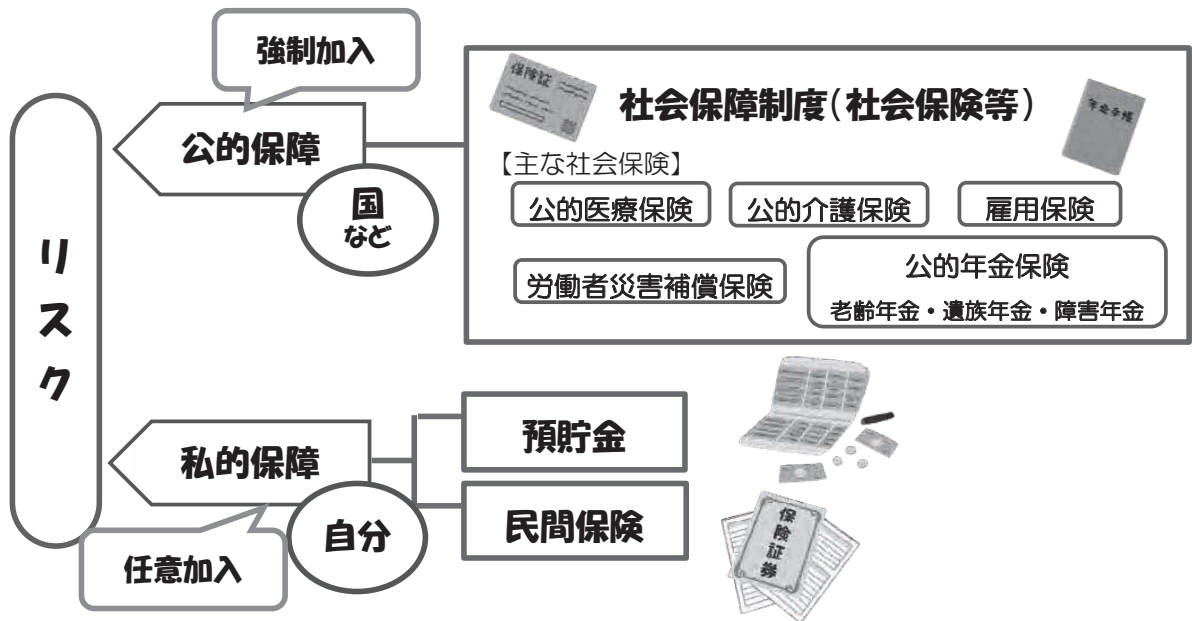
「備える」金融商品について知ろう

◆ 「リスク」とは・・・起きてほしくないことで、起きるとお金がかかること

☆すずきさん夫婦に次のようなリスクが起こったら、経済面でどんな困りごとが起きるのか考えてみよう

| | |
|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| いちろうさんが 45 歳のとき、がんで亡くなってしまった |  |
| はなこさんが 45 歳のとき、足の骨折で手術、入院することになってしまった |  |
| 息子が高校生のとき大学生と自転車同士でぶつかり、相手に重大な障害（言語機能の喪失等）を負わせてしまった |  |

◆ 「リスク」に備える2つの保障



☆公的保障で賄えないお金はどのくらい？

事例① 父(45歳)が亡くなってしまった場合(妻、子ども2人の場合)

| | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①必要となるお金</p> <p>生活費 約9,190万円
 子どもの教育費 約2,220万円
 その他 約1,650万円
 合計 約1億3,060万円</p> | <p>②入ってくるお金</p> <p>公的保障(遺族年金) 約6,190万円
 企業保障 約400万円
 妻の収入 約2,340万円
 合計 約8,930万円</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※生命保険文化センター「遺族保障ガイド」
 ※その他…住居修繕費用や子ども2人の結婚費用、葬儀費用など

※生命保険文化センター「遺族保障ガイド」
 国などから受けられる公的保障として「公的年金」には、「遺族年金」があります。

自分で準備する必要があるお金: 約 万円

事例② 足の骨折で手術をし、22日間入院した場合

| | |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| <p>①必要となるお金</p> <p>かかった医療費 約178万円
 その他 約8万円
 合計 約186万円</p> | <p>②入ってくるお金</p> <p>公的保障(公的医療保険) 約166万円
 合計 約166万円</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|

※生命保険文化センター「医療保障ガイド」
 ※その他…入院中の衣類・日用品やお見舞いに来た家族の交通費・食費等

※生命保険文化センター「医療保障ガイド」
 ケガや病気で入院したときには、国などから受けられる公的保障として、「公的医療保険」があります。

自分で準備する必要があるお金: 約 万円

事例③自転車同士の交通事故で相手に重大な障害を負わせてしまった場合

■自転車での加害事故例

| 判決額 | 事故の概要 |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9,521万円 | 男子小学生(11歳)が夜間、帰宅途中に自転車で走行中、歩道と車道の区別のない道路において歩行中の女性(62歳)と正面衝突。女性は頭蓋骨骨折等の傷害を負い、意識が戻らない状態となった。
(神戸地方裁判所、2013年7月4日判決) |
| 9,330万円 | 男子高校生が夜間、イヤホンで音楽を聴きながら無灯火で自転車を運転中に、パトカーの追跡を受けて逃走し、職務質問中の警察官(25歳)と衝突。警察官は、頭蓋骨骨折等で約2ヶ月後に死亡した。
(高松高等裁判所2020年7月22日判決) |
| 9,266万円 | 男子高校生が昼間、自転車横断帯のかなり手前の歩道から車道を斜めに横断し、対向車線を自転車車で直進してきた男性会社員(24歳)と衝突。男性会社員に重大な障害(言語機能の喪失等)が残った。
(東京地方裁判所、2008年6月5日判決) |

↑資料：一般社団法人 日本損害保険協会 「ファストブック2021日本の損害保険」より抜粋

自分で準備する必要があるお金： 約 円

※自動車事故においては、運転者が自賠責保険に加入する義務があるため、損害賠償金の一部は保障される。しかし、自転車事故においては強制保険がないため、多額の損害賠償金を負担しなければならない。

◆私的保障（預貯金と民間保険）

→ 公的保障で賄えないお金は（ ）か（ ）で賄う必要がある



☆1,000万円の備えをするためには…



注①預貯金は利息や税金などを考慮しない金額 ②保険料は男性(30歳)契約で、保険期間10年、保険金額1,000万円の定期保険の例。実際の保険料は、保険種類や契約内容、生命保険会社によって異なる場合があります。

■ 民間保険のいろいろ（生命保険と損害保険）

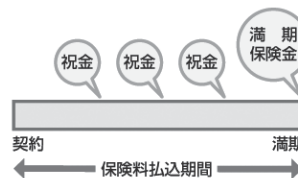
| | 生命保険 | 損害保険 |
|----------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 対象 | 人 | モノ |
| 受取額 | あらかじめ約束した金額
(定額給付) | 事故により発生した損害額
(しつてんごほ) (実損填補) |
| 備えられるリスク | ●死亡
●病気・ケガ
●老後
●介護
など | ●交通事故
●火事
●台風や地震
など |

◇こども保険（学資保険）◇

子ども保険は、子どもの入学や進学に合わせて祝金（生存給付金）や満期保険金を受け取れます。

親などの契約者が死亡した場合、その後の保険料払い込みが免除されます。さらに、満期まで育英年金を受け取れるタイプもあります。

保障の対象になっている子どもが死亡した場合、死亡給付金を受け取れますが、金額は少額です。



☆リスクのために預貯金をしておく場合と民間保険に加入する場合のメリット・デメリットをあげてみよう

| | リスクのために預貯金をする場合 | リスクのために民間保険に加入する場合 |
|-------|-----------------|--------------------|
| メリット | | |
| デメリット | | |

☆すずきさん夫婦にはどんな「備え」が必要か考えてみよう

資料：公益財団法人 生命保険文化センター HP 「中学校・高校向け副教材」「ほけんガイドWeb」より抜粋

「貯める」金融商品について知ろう



◆お金の価値

① お金の価値は上がったたり下がったりする

私達がものを買うとき、いつでも同じ価格で買えるわけではありません。たとえば、現在 100 円で買えるものが、数年後には 110 円に値上がりしている可能性もあります。このようにものの値段が変わることを「物価が変動する」といい、物価は上がるだけでなく、下がることもあります。ものの値段が動けば、お金の価値も変動します。先ほどのケースで、100 円で買ったものが 110 円出さないと買えなくなるのは、物価が上がって、お金の価値が下がるということの意味です。

預金で貯蓄しているだけでは、将来お金の価値が下がった場合に、必要な資金を用意できない可能性があります。そのため株式や不動産などの価値が目減りしにくいもので資産運用することで、お金の価値の変動に備えることができます。



◆資産運用とは

・自分の持っているお金（資産）を預貯金や投資に配分（運用）することで効率的にふやしていくこと

② お金にも働いてもらう

資産運用とは、言い換えれば「お金にも働いてもらう」イメージです。社会人になれば、自分自身も一生懸命働きますが、同時に自分が持っているお金を効率的に運用して、お金にも働いてもらうという考えも大切です。

社会人になってしばらくの間は、まずは貯蓄に励みたいものですが、少しずつ貯蓄が増えてきたら、その先は「資産運用」のことを考えてみましょう。その結果、お金を増やせれば、余裕をもってライフイベントを迎えられるでしょう。



◆貯蓄と投資

① 貯蓄をするなら、銀行口座が安全で確実

毎月の収入から、いくらかのお金を手元に置いておくのも、貯蓄といえるかもしれませんが、しかし、手元に現金があったら、つい使ってしまうこともあるでしょうし、もしも盗難や火事に遭った場合、大切なお金を失うことにもなりかねません。

そのため、安全に貯蓄をするには、銀行口座に預けておくのが確実な方法です。個人が利用する銀行口座には、おもに普通預金と定期預金の2つがあります。

おサイフ代わりに

普通預金

普通預金は入金や引き出しが自由にできるのが、最大の特徴です。気軽に利用できる反面、金利は低めに抑えられています。

安全確実に増やす

定期預金

定期預金は3か月や6か月、1年、3年、5年などの預け入れ期間を選び、満期（預け入れ期間終了）まで解約しないことを前提に預ける預金のことです。

② 投資は貯蓄では得られない利益を目指す

資産運用を行ううえで欠かせないのが、積極的な利益を目指す「投資」という考え方です。「投資」とは、将来が有望な企業やものに資金を投じることです。

投資は、運用状況によって、投じた資金（元金）が減ってしまう可能性もあります。しかし、短期ではなく長期的な運用を行えば、利益を得られるタイミングで換金できるため、お金を効率的に増やしやすくなります。

投資

大きな利益を得られる

可能性もあるが、損をするケースもある

貯蓄

大きな利益は得られないが、もとのお金が減る心配はない

◆投資の種類

株式

株式（株券）は、株式会社に資金を出資している証明として、株主に対して発行されます。つまり、株式を保有することは、その会社に対して出資することになります。たとえわずかでも、株式を購入すれば、投資した会社の株主になります。

株式を保有している間は、定期的に配当金（会社が得た利益の還元）がもらえるほか、購入した株式が値上がりした後に売却すれば、値上がり益を得られます。



債券

債券とは、国や企業などが、お金を借りる際に発行する文書（有価証券）のことです。

債券は、1年、2年、5年、10年など、あらかじめお金を返す期限日（満期）が決められて発行されます。保有している間は定期的に、あらかじめ決められた利率にもとづいた利息がもらえ、満期になれば、貸したお金が戻ってきます。



投資信託

投資信託は、多くの人からお金を集めてファンド（運用の基金）を作り、その資金を運用のプロが効率的に投資してくれる仕組みです。

投資信託のメリットは、数千円や数万円などの少額のお金から始められること。そして、専門家が運用するため、運用の知識が豊富でなくても投資に参加できることです。



◆金融商品の選択基準

あんぜん 安全第一

安全性

預けたお金が
減ったりしないかどうか

安全性が高い商品は、お金を大きくふやすことは期待できない

ふやーす

収益性

どれだけ収益(利益)が期待できるか

利益が期待できる商品は、安全性や流動性が低くなるのが一般的。

うごかせーる

流動性

預けたお金を自由に引き出せるかどうか

流動性が高いと、すぐにお金を引き出せて便利だが利息はあまりつかない。

☆それぞれの金融商品を3つの選択基準について3段階で(○×△)で評価してみると…

| | 安全性
(元本保証) | 収益性 | 流動性 |
|------|---------------|-----|-----|
| 預金 | ◎ | △ | ◎ |
| 株式 | △ | ◎ | ○ |
| 債券 | ○ | ○ | △ |
| 投資信託 | △～○ | ○～◎ | ○ |

※◎△はおおよその目安です。投資する商品や方法によっても変わります。
※評価は日本証券業協会HP「投資の時間」より抜粋

・リターンとリスク

リターンとは、投資したお金が増えたり、減ったりする結果のこと。リスクとは、投資したもとのお金(元金)が増えたり、減ったりする可能性の幅のことを指します。



金融商品ごとのリターンとリスクについて確認しましょう



☆資産運用のシュミレーションをしてみよう

すずきさん夫婦の貯金額 1000万円を次の3つのシナリオで資産運用してみよう。

| | シナリオ①
引き続き普通預金をする | シナリオ②
国内債券を購入する | シナリオ③
海外株式を購入する |
|---------|----------------------|--------------------|--------------------|
| 平均年利 | 0.001% | 0.7% | 7.2% |
| 設定期間 | 20年 | 20年 | 20年 |
| 10年後の金額 | ()万円 | ()万円 | ()万円 |
| 20年後の金額 | ()万円 | ()万円 | ()万円 |

金融庁
「資産形成シュミレーター」
に入力してみよう



資産形成シュミレーター

☆貯まった1000万円を貯金しておく場合と投資をする場合のメリットとデメリットをあげてみよう。

| | 1000万円を貯金しておく場合 | 1000万円を投資する場合 |
|-------|-----------------|---------------|
| メリット | | |
| デメリット | | |

☆投資するときに気をつけることをまとめよう

知識構成型ジグソー法を用いた協調学習授業 授業者振り返りシート

実施校 出雲高校

| | | | |
|------------|-----------------------|-------|---------|
| 授業日時 | 令和4年10月19日 | 教科・科目 | 家庭・家庭基礎 |
| 学年・年次 | 1学年 | 生徒数 | 40名 |
| 教科書及び教科書会社 | 家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版) | | |

1. 生徒の学習の評価 (授業前後の変化)

(1) 3名の生徒を取りあげて、同じ生徒の授業前と授業後の課題に対する解答がどのように変化したか、具体的な記述を引用しながら示して下さい。実技教科等で生徒の直接の解答が取れない場合は、作品の写真等、メインの課題に対するパフォーマンスの変化がわかる参考資料を貼付してください (別紙可)。

| 生徒 | 授業前 | 授業後 |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 新築住宅は難しそうなので諦め、その代わりにどちらかの実家に移ったらアパートより部屋は広くなると思う。貯金は子供の養育費に優先して充てるべき。 | 新築住宅は住宅ローンを使い、なるべく金利が低い銀行を選びましょう。子供の教育費は奨学金を利用するのをおすすめします。リスクに備えて民間保険に入っておくのと、ある程度の預貯金も確保しておくと思いたいです。 |
| 2 | 子供の教育費は奨学金制度などを利用すればどうにかなるのではないのでしょうか。 | 新築住宅や教育のためのお金はローンや奨学金などの制度を利用する。借金をすることになるが返済期間も長く、金利の低い銀行を選ぶなどの工夫をすればいいのではないかと思う。リスクの面では保険に入るべき。老後の資金は投資信託という選択肢もあるため考えてみてほしい。 |
| 3 | マイホームを立てるのは急がないほうが良い。まずは、将来に大きな影響がある子供の教育費や老後の資金を優先に考えるべきだと思う。定年退職のタイミングなら家を建てることのできるかもしれない。 | 子供の教育費や新築住宅の計画など、必ず預貯金から用意する必要はないので、ローンや投資を行ったり保険に入ったりして、リスクに備えつつやりたいことを実現する方法を探していけばいいと思う。 |

(2) 生徒の学習の成果について検討して下さい。授業前、授業後に児童生徒が答えられたことは先生の事前の想定や「期待する解答の要素」と比べていかがでしたか。

授業前、授業後ともに、概ね想定する答えが出ていた。

<授業前>

半分の生徒が「新築住宅はあきらめるべき」と回答し、ローンの利用については3割程度であった。「老後の資金」や「投資」についての記述はほとんどみられなかった。「実家を頼る」「節約する」「頑張っただけで貯金をする」などの記述も見られた。

<授業後>

「住宅ローンを利用して新築住宅を建てる」という回答が7割以上あった。老後の資金については「投資によって長期的な運用をするとよい」という回答が3割程度あった。「リスクに備えて保険に入るべき」との回答も4割程度みられた。金融商品に対する視野が広がり、情報収集をして知識を持つことの大切さや、自分自身の家庭の経済状況や自分の将来に目を向ける生徒もおり、自分事としてとらえることができたようである。

2. 生徒の学習の評価 (学習の様子)

生徒の学習の様子はいかがでしたか。事前の想定と比べて、気がついたこと、気になったことをあげてください。

○実生活の中では家庭の経済状況に触れる機会はあまりなく、「難しい」課題であったようだが前向きに取り組んでいた。

○月々の収支などの細かなお金の計算にこだわってしまう生徒がいた。

○授業後の自己評価ではすべての生徒が「大変意欲的に取り組めた」「意欲的に取り組めた」と回答した。また6割以上の生徒が「自分が学んだ知識や考えと友だちの知識や考え方を組み合わせて課題に対しての意見を持たせたい」と回答しており、グループで対話をしながら前向きに課題に取り組んだ様子が伺えた。

3. 授業の改善点

生徒の学習の成果や学習の様子を踏まえ、次の3点について今回の授業の改善点を挙げて下さい。

(1) 授業デザイン (課題の設定、エキスパートの設定、ゴールの設定、既有知識の見積もりなど)

(2) 課題や資料の提示 (発問、資料の内容、ワークシートの形式など)

(3) その他 (授業中の支援、授業の進め方など)

○「金融商品」「金利・利息」「資金の調達方法」「ローンの頭金」などの言葉の意味や概念を捉えていない生徒が多かったため、事前に押さえておく。

○エキスパート資料の内容の精選をする。

○貯蓄の使い方や資金調達の方法をある夫婦のプランとして例示する。

○ICTを活用し、生徒の発表形式を工夫する。

令和4年度学校における 消費者教育事業について

環境生活総務課 消費とくらしの安全室
消費者教育コーディネーター 遠藤 紀子

(1) 消費者教育推進連絡会議

開催日：令和4年5月24日(火)・令和5年3月2日(木)

出席者：消費者教育関係教科研究会(7団体※1)

県教育庁各課、県教育センター、県消費とくらしの安全室

内容：学校における消費者教育実践研究委託事業 他

※1 県小学校家庭科教育研究会、県社会科教育研究会、県中学校技術・家庭科研究会、
県高等学校家庭科研究会、県高等学校地歴・公民科教育研究会、
県特別支援学校教育研究会、島根大学教育学部消費者教育研究会

(2) 島根県消費者教育外部人材活用講師派遣事業(プロフェッショナル出前授業)

目的：学校教育現場における外部講師の活用。令和4年4月の民法の成年年齢引き下げを受け、主に中学校・高校において法律専門家を講師に授業を展開。

時期：令和4年6月末より令和5年3月まで 見込12校(22コマ)

情報科学高校、松江商業高校、大東高校、三刀屋高校、飯南高校、出雲高校、江津工業高校、益田高校、隠岐高校、石見養護学校、松江一中、私学教育振興会



(3) 消費者教育教員研修会(共催：国民生活センター)

開催日：令和4年11月11日(金) 松江市 サンラポーむらくも

受講者：小・中・高・特別支援教育教員16名(島根・福井・滋賀・広島)

①内容：講義「学校現場における消費者教育の重要性」とワークショップ

講師 四国大学短期大学部 教授 加渡 いづみ 氏

②内容：講義「若者に多い消費者トラブルの最近の傾向と特徴」

講師 島根県消費者センター 指定消費生活相談員 勝部 明美 氏

(4) 消費者教育推進事業(教科別研究会活動支援)

学校における消費者教育実践研究委託事業(4団体※2)

授業内容・方法、教材開発とその活用等について実践研究を委託

※2 県小学校家庭科研究会、県社会科教育研究会、県中学校技術・家庭科研究会、県特別支援学校教育研究会

(5) 消費者教育情報冊子の活用

①すくすく消費者(小・中・高・高専・特別支援に配布)

②社会を変える消費者市民(中2向け一県内の中学校に配布)

③SDGs達成のための未来を変えるエシカル消費(希望により中・高へ)

④狙われる18歳!? (希望により中・高へ)

(6) 消費者問題出前講座(消費者センター)

○若年者向消費者講座実績(令和4年度)(令和4年度12月 見込30校)

編集・発行／島根県・島根県教育委員会 令和5年3月発行

〒690-0887 松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター5階

島根県環境生活部環境生活総務課消費とくらしの安全室

TEL(0852)22-5103 FAX(0852)32-5918

ホームページURL(https://www.pref.shimane.lg.jp/shohi_kurashi/)

本紙に対する御意見・御要望を
お寄せください



古紙配合率100%再生紙を使用しています

※環境にやさしいベジタブルインクを使用しています。